

記入上の注意

2019 年度 JPO 派遣候補者選考試験応募用紙 (和文)

今次試験の応募用紙を使用する (古い書式は不可)

応募日付を入力 応募年月日 : 2019 年 2 月 1 日

1 基本情報

氏名	(ふりがな) がいむ たろう	性別
	(姓) 外務	(名) 太郎 <input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
生年月日	1988 年 5 月 1 日	日本国外の場合は国番号をつける
電子メール (日本語表示可のもの)	taro.gaimu@xxx.jp	
電話番号 (☑携帯 ☐自宅 ☐職場)	+1-000-000-0000	
現住所	10017 866 UN Plaza, New York, NY, USA	
海外在住の場合、 日本国内連絡先	100-8919 東京都千代田区霞が関 2-2-1	
JPO 派遣候補者選考試験試験応募履歴 <input type="checkbox"/> 初めて応募 <input checked="" type="checkbox"/> 過去 3 回応募 <small>(応募歴がある場合には、以下に記入する。過去 3 回応募している場合には、最近の 3 回について記入する)</small> 2018 年度試験 (外務省 枠) <input type="checkbox"/> 1 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次辞退 <input checked="" type="checkbox"/> 2 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次通過後辞退 2017 年度試験 (UNDP 枠) <input type="checkbox"/> 1 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次辞退 <input checked="" type="checkbox"/> 2 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次通過後辞退 2016 年度試験 (追加募集 枠) <input checked="" type="checkbox"/> 1 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次辞退 <input type="checkbox"/> 2 次不合格 <input type="checkbox"/> 2 次通過後辞退		

2 赴任に関する志望等

志望する国際機関、職種及びポスト等	
1 派遣先として志望する 国際機関 (1 つのみ)	国連事務局 (部局/組織名を下欄に明記すること)
2 志望する職種	(例) 政務官
3 志望する勤務地・地域	(例) 本部 (NY 又はジュネーブ) (例) フィールドを志望 (ハードシップカテゴリーに関わらずいずれの勤務地も可)
4 志望する業務※	(例) PKO 局 (DPKO), 軍縮部 (ODA) 等の本部部局における軍縮関係業務。

※【UNDP, WFP, OECD 志望の者】国際機関人事センターウェブサイトに掲載した 2019 年度 JPO ポストの中から志望するポストを選択して記入すること (複数選択可)。

※【UNDP, WFP, OECD 以外志望の者】国際機関人事センターウェブサイトに掲載した UNDP, WFP, OECD 以外のポストは例示であり、配属は必ずしもこれらに限定するものではないが、具体的に志望するポストがあれば、参考としてポスト番号等を記入すること (複数選択可)。

上記の志望機関に UNDP, WFP, OECD 以外を挙げた場合、本欄に入力する。東京、ジュネーブから選択する (これ以外の都市では実施されない)。

2-2 外務省枠第二次審査 試験地に関する希望 (UNDP)

外務省枠第二次審査 試験地に関する希望	
試験地 (東京, ジュネーブ)	第一希望 : 東京 第二希望 (あれば) : ジュネーブ
<input checked="" type="checkbox"/> 私は、外務省が上記希望と異なる試験地を指定する場合があることを理解しています。外務省が指定する試験地及び試験日時にて受験できない場合、代替措置が行われないことを了承しています。	

- ・本欄に記入するだけでなく、必ず証明書類の写しを応募書類に添付すること。
- ・TOEFL テスト, IELTS については、両方を有している場合は両方提出も可。
- ・TOEFL テスト, IELTS は 2017 年 3 月 5 日以降に受験したものが有効。それ以外の語学検定試験は、応募時点で有効なスコアのみ考慮の対象とする。

3 各種言語スコア

以下に申告したスコアについては、必ず証明書類の写しを応募書類に添付すること。

TOEFL テストスコア <input checked="" type="checkbox"/> iBT/ <input type="checkbox"/> PBT/ <input type="checkbox"/> Revised TOEFL Paper-delivered Test	スコア 100 受験日 2018 年 12 月 1 日
IELTS スコア <input type="checkbox"/> academic module/ <input type="checkbox"/> general training module	スコア 受験日
国連英検特 A 級	<input checked="" type="checkbox"/> 持っている 持っている場合、受験日 XXXX 年 XX 月 XX 日
フランス語 (複数の資格を有している場合は、最も級の 高い資格について右欄に記入し、それ以外の資格は「その 他の語学スコア」に記入する)	試験名 DELF スコア/級 B2 受験日 XXXX 年 XX 月 XX 日
その他の語学スコア (下欄に言語及び検定試験名を記入し、証明書類の写しを応募書類に添付する。複数記入可) ТРКИ 4-й сертификационный уровень (Test of Russian as a Foreign Language, 4 級) (2010 年 5 月 1 日受験)	

試験名, スコア名称に適宜英訳又は和訳をつける

4 学歴 (枠内に収まるよう入力すること)

学士	学校名 ○○○大学 (日本)	<input checked="" type="checkbox"/> 取得 (XXXX 年 XX 月) または <input type="checkbox"/> 取得見込 (年 月)
	学位名称 法学士	
	専門分野及び学位論文のテーマ	
修士	学校名 University of XXX (英国)	<input checked="" type="checkbox"/> 取得 (XXXX 年 XX 月) または <input type="checkbox"/> 取得見込 (年 月)
	学位名称 MA in International Relations	
	専門分野及び学位論文のテーマ	
博士	学校名	<input type="checkbox"/> 取得 (年 月) または <input type="checkbox"/> 取得見込 (年 月)
	学位名称	
	専門分野及び学位論文のテーマ	
ダブル ディグリー	(学士号, 修士号, 博士号をそれぞれ 2 件以上取得済か, 取得見込の場合, 本欄に記入する)	
給付型 奨学金 受給歴	(給付型の奨学金のうち, 特筆すべき受給歴があれば任意で本欄に記入する) 全額給付奨学金「(奨学金名称)」, ○○財団, 2013 年 9 月~2015 年 4 月	

特に修士以上の専攻内容は詳しく記入する

博士課程に在籍歴がない場合は空欄とする

5-1 職歴（要約）

※職歴について、新しいものから全て順次記入する。学歴は記入不要。

※現職の所属期間について、①任期の定めがない場合は単に「現在」と記入。②有期契約の場合は、契約終了予定年月を記入。

※JOCV及びUNVも職歴として5-1及び5-2に記入する。

※JOCV、UNV以外のボランティア経験、国際機関におけるインターンシップ経験については、5-1及び5-2に記載せず、それぞれ6と7に記入する。

通 番	所属期間 から (年/月)	所属期間 まで (年/月)	勤務先団体・部署・役職名 ※セルの高さ変更可。ただし100字まで。	居住国
1	2018/4	現在	XXX社 調査部ジュニア・アナリスト(常勤)	米国
2	XXXX/XX	XXXX/XX	在〇〇国日本国大使館(専門調査員)	〇〇
3	XXXX/XX	XXXX/XX	青年海外協力隊(コミュニティ開発)	△△
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				

5-2 職歴（具体的な職務内容及び業績）

※5-1の「通番」に合わせる形で記入。

※セルの高さ変更可。ただし＜団体・部署・役職名＞は5-1に合わせ100字まで。＜職務内容＞は800字までの範囲で入力する。

1	＜団体・部署・役職名＞ XXX 社 調査部ジュニア・アナリスト(常勤)
	＜職務内容＞ ……………
2	＜団体・部署・役職名＞ 在〇〇国日本国大使館(専門調査員)
	＜職務内容＞ ……………
3	＜団体・部署・役職名＞ 青年海外協力隊(コミュニティ開発)
	＜職務内容＞ ……………
4	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
5	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
6	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
7	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
8	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
9	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
10	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
11	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞
12	＜団体・部署・役職名＞
	＜職務内容＞

常勤，非常勤，正社員，総合職，自営業等，事情に合わせて記入する

6 海外滞在経験, ボランティア経験

ロシア・モスクワ (2009年9月~2010年6月、〇〇大学に交換留学)

7 国際機関におけるインターンシップ経験

国連〇〇機関駐日事務所, 広報担当インターン (2013年7~8月)

8 各種資格

- (例) 医師免許 (日本) XXXX年XX月取得
- (例) 司法修習終了 (日本) XXXX年XX月
- (例) 弁護士登録 (日本) XXXX年XX月
- (例) 司法試験合格 (NY州) XXXX年XX月
- (例) 公認会計士 (日本) XXXX年XX月取得
- (例) 米国 CPA (米国) XXXX年XX月取得

9 赴任可能時期, 勤務地に関する制約

赴任可能時期: 2019年12月

(注: 2019年度試験の合格者は, 国際機関側の審査に時間を要する
地から真にやむを得ないと判断される場合等を除き, 2019年12月末日までに赴任)

国連における [hardship](#), [non-family duty stations](#) の定めについては国際人事委員会 (ICSC) のウェブサイトをよくお読みください。

勤務地に関する制約, 赴任が困難である国・地域 あり なし

(例) 育児中であることから, family duty station で, かつ, 国連のハードシップカテゴリーが A~C, H のポストのみ赴任希望。(例) 定期的に精密検査が必要であることから, JPO 任期中・任期後とも医療施設へのアクセスが容易な勤務地のみ可。

・例えばニューヨーク勤務の JPO ポストであっても, 国際機関職員として, ハードシップの高い国・地域への出張が求められる場合がある。業務が困難である国・地域があれば, 正確に記入すること。

・JPO は任期中, 国際機関の正規ポストを目指して積極的に応募活動を行うことが求められる。外務省国際機関人事センター及び国際機関において, JPO の応募活動を支援する上で必要となるため, JPO 任期中の応募活動に制約がある場合は, 正確に記入すること。

10 志望動機 (2000文字以内かつ枠内に収めること)

.....

2000字以内で、かつ1枚に収まるよう入力する。なお、空白や改行を設ける場合、空白はカウント不要(1字に数えない)。

私は、応募用紙に記載した事項が正確であることを確認しました。☒

(上記に必ずチェックを入れること。)

以上

チェックを入れる